

# プレスリリース

報道関係者各位

2025年10月23日

 高松自動車学校  
株式会社T・D・S

## 外国籍ドライバーの交通安全意識向上へ 高松自動車学校が動画教材を制作・活用強化

高松自動車学校（株式会社T・D・S 高松市上天神町646番地／代表取締役：富家嘉頭）は、外国籍ドライバーの交通ルールの理解向上を目的として、スマートフォンで手軽に視聴できる動画教材を制作しました。11月中旬より第一弾としてネパール人向けのコンテンツを入校生限定で公開し、母国と日本の交通ルールのギャップを埋めるための新たな取り組みを開始します。今後は、入国後のサポートを行う管理団体や企業との連携を進め、外国籍ドライバーの安全運転教育を強化することで、地域の安心・安全な交通環境づくりを目指します。



動画教材の一部

### ■社会的課題と当校の対応

技能実習生及び、特定技能人材の増加に伴い、外国籍ドライバーの数は年々増加しており、交通事故件数も令和2年の5,441件から令和6年には7,286件へと増えています。＊交通ルールの理解不足による重大事故も発生しており、母国と日本の交通文化の違いが課題となっています。

こうした現状を受け、当校では、新規免許取得・外免切り替えの双方に対応し、多言語による教育支援を強化しています。外国籍ドライバーに日本の交通ルールを正しく理解してもらうことで、交通ルールの誤解や文化的ギャップによる事故リスクを減らし、地域住民の安全を守り、安心して暮らせる交通環境の実現を目指しています。

＊令和7年版 交通安全白書(内閣府)

### ■香川県での外国人労働者の現状

当校では、年間約2,500名が新規で運転免許を取得しており、そのうち約100名が外国籍ドライバーです。この数は香川県における外国人労働者の増加に伴い、年々増加しています。

香川県の「外国人雇用状況届出報告」（令和6年10月末時点）によると、外国人労働者数は14,428人と前年から2,126人増加し、対前年比17.3%増という高い伸び率を示しています。

当校では、多言語対応を含め、外国籍の方への安全運転教育を強化していますが、言語の壁や母国との交通ルールの違いにより、日本の交通ルールの理解や運転行動への定着に時間がかかるケースが少なくありません。特に信号、横断歩道、車両通行帯といった日本独自のルールや運転マナーへの順応には、段階的な教育と時間を要しています。

## ■今回の取り組み内容

年間約100名の外国籍利用者のうち約4割をネパール出身の方が占めている現状を踏まえ、第一弾としてネパール人向けの交通ルール動画教材を制作しました。

ネパールと日本の交通環境の違いをシンプルにまとめ、スマートフォンで手軽に視聴できる3本の短編動画として制作しました。この教材は、当校で入校される方や、ネパールから日本への渡航が決まっているものの、まだ現地で準備中の方なども対象としており、日本に来る前の段階から交通ルールへの理解を深めてもらうことを目的としています。

動画の内容は以下のとおりです。

### ①信号の違いについて

ネパールでは信号そのものが少なく、都市部にはあるもののルールを守る人が少ないのが現状です。日本では通常の信号に加え、矢印信号や点滅信号などがあるため、その違いをわかりやすく解説しています。

### ②横断歩道について

ネパールでは歩行者が横断歩道を渡る際、自分で手を挙げて車を止めることが一般的ですが、日本では歩行者優先が法律で定められており、車は必ず一時停止する必要があります。こうしたルールの違いと、その重要性を説明しています。

### ③複数車線の道路の通行方法について

ネパールでは、都心部以外の道路は1車線であることが多いです。そこで、日本の複数車線における通行方法やルールの基本を解説しています。

また、動画は日本語音声と英語字幕を併用しているため、ネパール人以外の外国籍ドライバーにも活用できる内容となっています。

## ■動画の活用先と今後の展望

今回制作した動画教材は、主に当校の入校生を対象に活用していきます。特にネパール人をはじめ、ネパールと交通環境が類似している諸外国の方々にも対応できるよう、QRコードからスマートフォンで視聴できる形式で配布し、日本の交通ルールの理解促進に役立てます。

さらに現在、入国後のサポートを行っている管理団体や支援機関との連携を進めており、渡日前の段階から日本の交通ルールとのギャップを埋めるための教材として活用していただけるよう調整中です。

また、11月26日には、公益財団法人国際人材協力機構(JITCO)・高松南警察署と連携し外国人ドライバーの雇用・育成に関心を持つ企業や、建設・物流業界などを対象としたセミナーを開催し、外国人人材の受け入れ環境づくりと安全運転に関する知識を雇用者と労働者の双方に浸透することで交通安全意識の向上を図ります。

外国籍ドライバーの交通ルール理解を深めることは、事故の未然防止と地域全体の安全性向上に直結すると考えます。当校は、地域の方々が生涯を通じて安心・安全に暮らせる社会の実現を目指し、この取り組みを継続してまいります。

日時：11月26日 15:00-17:00

場所：高松自動車学校